

氏名	難波清人
授与した学位	博士
専攻分野の名称	医学
学位授与番号	博乙第3790号
学位授与の日付	平成14年12月31日
学位授与の要件	博士の学位論文提出者 (学位規則第4条第2項該当)
学位論文題目	Relationships of Serum Levels of Insulin-like Growth Factors with Indices of Bone Metabolism and Nutritional Conditions in Hemodialysis Patients (血液透析患者における血清insulin-like growth factor値と骨代謝及び栄養学的指標との関連)
論文審査委員	教授 清野佳紀 教授 井上一 教授 白鳥康史

学位論文内容の要旨

insulin-like growth factor(IGF)-Iは骨代謝に関連していると同時に、栄養学的指標として有用であるとの報告がある。そこで、各IGFが血液透析患者における骨代謝と栄養状態のどちらにより関与しているのかを明らかにすることを目的とした。

血液透析患者62例(男性36例、女性26例、年齢57.7±13.6歳、透析期間8.6±5.2年)を対象とし、IGF-I、IGF-II、insulin-like growth factor binding protein(IGFBP)-1、IGFBP-3を測定した。さらにこれらの測定値と、DEXA法による骨密度や、intact parathyroid hormone (intact PTH)、intact bone Gla protein (intact BGP)等の骨代謝指標、urea kinetic model の各指標との関連性につき検討した。

男性例では、IGF-IIはintact PTH、骨密度と有意な正の相関を認めたが、女性例では、そのような傾向を認めなかった。一方、栄養指標である%クレアチニン産生速度(%CGR)の重回帰分析では性別に関係なく、血清IGF-I値、血清IGF-II値、糖尿病の有無が説明変数となった。

血液透析患者において、血清IGF-I値および血清IGF-II値は、いずれも栄養学的指標として利用できるものの、骨代謝指標としては有用でないことが示唆された。

論文審査結果の要旨

血液透析患者62例(男性36例、女性26例、年齢57.7±13.6歳、透析期間8.6±5.2年)を対象とし、IGF-I、IGF-II、insulin-like growth factor binding protein(IGFBP)-1、IGFBP-3を測定した。さらにこれらの測定値と、DEXA法による骨密度や、intact parathyroid hormone (intact PTH)、intact bone Gla protein (intact BGP)等の骨代謝指標、urea kinetic model の各指標との関連性につき検討した。

男性例では、IGF-Iはintact PTH、骨密度と有意な正の相関を認めたが、女性例では、そのような傾向を認めなかった。一方、栄養指標である%クレアチニン産生速度(%CGR)の重回帰分析では性別に関係なく、血清IGF-I値、血清IGF-II値、糖尿病の有無が説明変数となった。

これらの結果は、血液透析患者において、血清IGF-I値、血清IGF-II値は、いずれも栄養学的指標として利用できるものの、骨代謝指標としては有用でないことを示唆するものであり、重要な知見を得たものとして価値ある業績であると認める。

よって、本研究者は博士(医学)の学位を得る資格があると認める。